



事例紹介

三重県桑名市

桑名市ゼロカーボンシティ
マスコットキャラクター



桑名市は「環境と経済の好循環を生み出す社会の実現に向けて」2050年ゼロカーボンシティを実現します。

ゼロカーボンシティに向け「できることから取り組みを」

CN取組の内容

● 桑名市ゼロカーボンシティ宣言

R3年3月宣言。2050年までにCO2排出実質ゼロを目標に、市民の命と暮らしを守り、「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりを目指す。

● グリーン資産創造課の設置

公有財産のフル活用を迅速に進めるために財産管理部門とゼロカーボン担当をミックスした組織を設置。

● グリーンIoTラボ・桑名

R3年に、産学官金の連携により、IoTを活用し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを推進するための協議会を設立。
民間事業者からの提案型で実事業を創出。



ここがポイント

公共施設への再エネ導入事業(PPA事業)

県内初

公有財産管理部門がゼロカーボンを所管することで、公共施設へのPPA方式による太陽光発電施設および蓄電池設置を迅速に意思決定し、計13施設への設置を決定。R5年4月より電力供給開始予定。



公共施設へカーボンニュートラル都市ガスを利用

東海初

R4年7月より市が管理する全ての公共施設にカーボンニュートラルLNGを原料とする都市ガスを導入。

多度山グリーン好循環創出事業

自然エネルギーで稼働し、給排水は完全循環式で維持管理などは不要な登山客向けのトイレを設置。トイレ側面に地元の商店で利用できるクーポンをQRコードで発行。健康×グリーン×経済活性化。



太陽光発電設備等の共同購入事業

県内初

一般家庭から太陽光発電設備や蓄電池の購入希望者を募り、スケールメリットを活かし市場価格より安価で購入する取り組み。市が協定を締結した事業者が募集し、市は広報支援を実施。R4年は40件が成約。